

< 2 3 - 2 1 >
2 0 2 3 年 9 月

先生各位

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、別掲の項目につきまして、2023年10月より検査内容の変更をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。
何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■検査変更内容:

別掲の一覧表をご参照ください。

■変更期日: 2023年 10月 2日(月)受付分より

以上

※ 詳細につきましては、次ページ以降をご覧ください。

●検査内容変更項目一覧

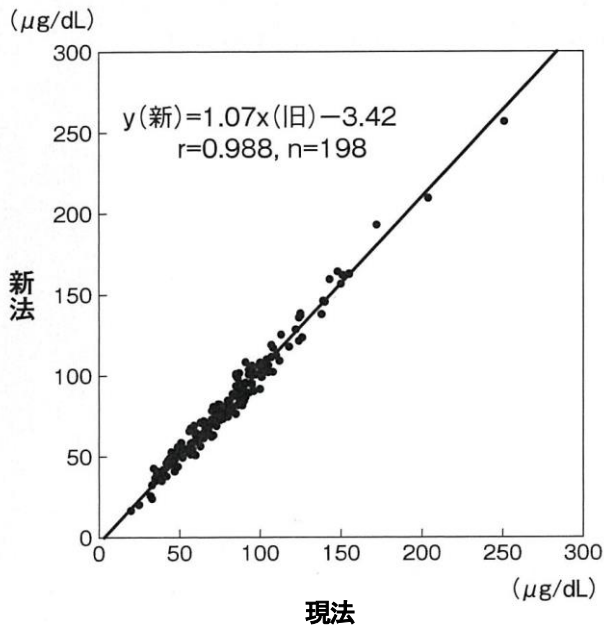
項目 コード	項目名	変更内容	新	現	備考
1331	亜鉛(Zn) <血清>	検査方法 検査材料 備考	比色法 血清[容器番号:01→02番] (削除) 測定値に影響が出ますので溶血検体でのご依頼は避けてください。 真空採血管のゴム栓には亜鉛が含まれているものがあります。当社指定容器以外を使用の際には十分ご注意ください。	原子吸光法 金属用血清[容器番号:63番] 必ず指定容器で採取し、採取後は別の容器に移さず、専用検体としてご提出ください (同じ容器を用いる項目は同一検体でも可)。汎用項目も同時にご依頼の際は、金属分析用容器(容器番号63)と汎用容器(容器番号01)の2種類をご提出ください。 指定容器は、ゴム栓の影響はありません。 (新設)	検査方法の変更
1338	マンガン(Mn) <血液>	検査方法 所要日数	ICP-MS 5 ~ 10 日	原子吸光法 6 ~ 11 日	検査方法の変更
1339	マンガン(Mn) <血清>	検査方法 所要日数	ICP-MS 5 ~ 10 日	原子吸光法 6 ~ 11 日	
1399	ゾニサミド	検査方法 検体量 所要日数	ラテックス凝集法 血清 0.5 mL 2 ~ 3 日	HPLC 血清 0.3 mL 3 ~ 5 日	検査方法の変更
4117	クロザピン	所要日数	3 ~ 4 日	3 ~ 6 日	

●亜鉛（Zn）〈血清〉

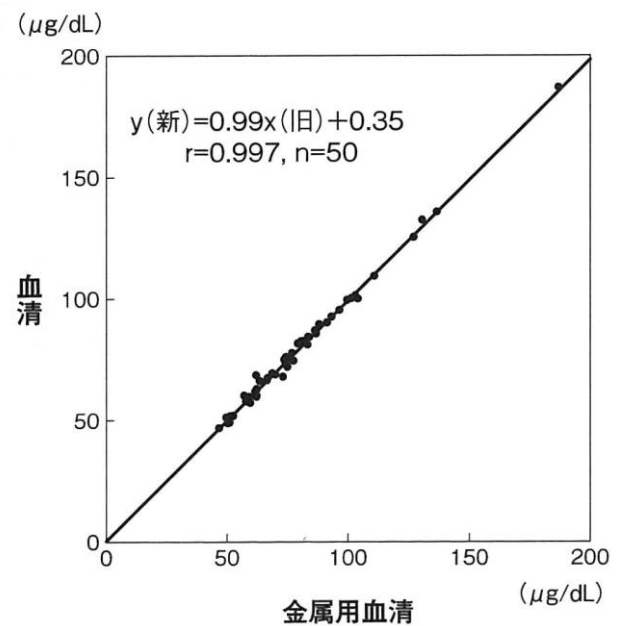
測定方法を原子吸光法から自動分析装置による比色法に変更します。弊社汎用容器では測定値への影響がないことが確認されており、金属分析用容器への採取は不要となりました。検体量、基準値などの検査要項の変更はございません。

	新	現
検査方法	比色法	原子吸光法
検査材料	血清[容器番号:01→02番] (削除)	金属用血清[容器番号:63番] 必ず指定容器で採取し、採取後は別の容器に移さず、専用検体としてご提出ください(同じ容器を用いる項目は同一検体でも可)。汎用項目も同時にご依頼の際は、金属分析用容器(容器番号63)と汎用容器(容器番号01)の2種類をご提出ください。
備考	測定値に影響が出ますので溶血検体でのご依頼は避けてください。 真空採血管のゴム栓には亜鉛が含まれているものがあります。当社指定容器以外を使用の際には十分ご注意ください。	指定容器は、ゴム栓の影響はありません。 (新設)

《新法と現法の相関》



《血清と金属用血清の相関(比色法)》



●マンガン（Mn）＜血液・血清＞

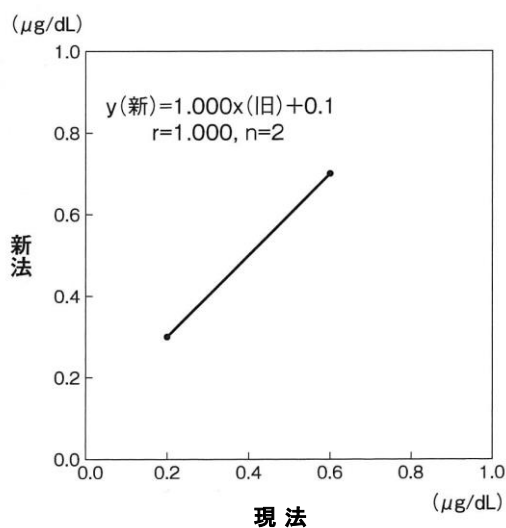
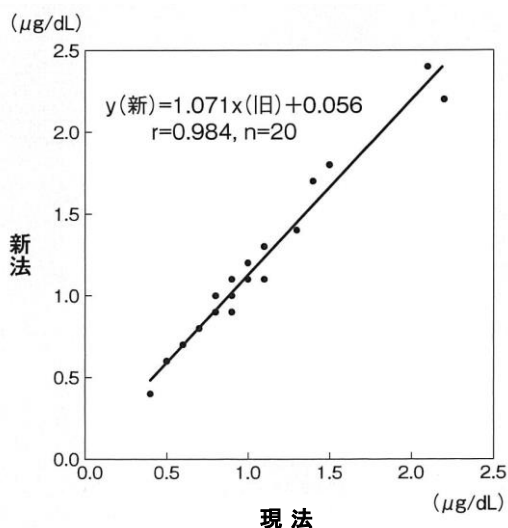
検査方法を原子吸光法から ICP-MS 法へ変更させていただきます。新現二法の相関は良好であり、その他の検査要項に変更はございません。

	新	現
検査方法	ICP-MS	原子吸光法
所要日数	5 ~ 10 日	6 ~ 11 日

＜新法と現法の相関＞

[マンガン＜血液＞]

[マンガン＜血清＞]



(お知らせ)

マンガン＜血清＞は2024年3月31日をもって検査中止を予定しております。

●ゾニサミド

検査方法をHPLC法からラテックス凝集法へ変更させていただきます。なお、この変更に伴い、検体量、所要日数を変更いたします。

	新法	現法
検査方法	ラテックス凝集法	HPLC
検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL
所要日数	2 ~ 3 日	3 ~ 5 日

＜新法と現法の相関＞

